

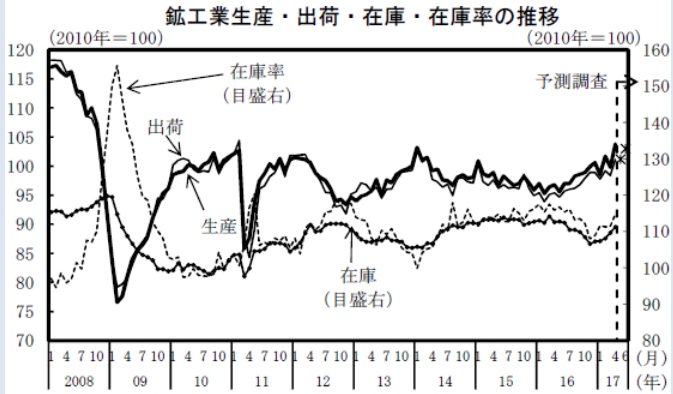
今月の経済動向（平成29年6月）

● 月例経済報告

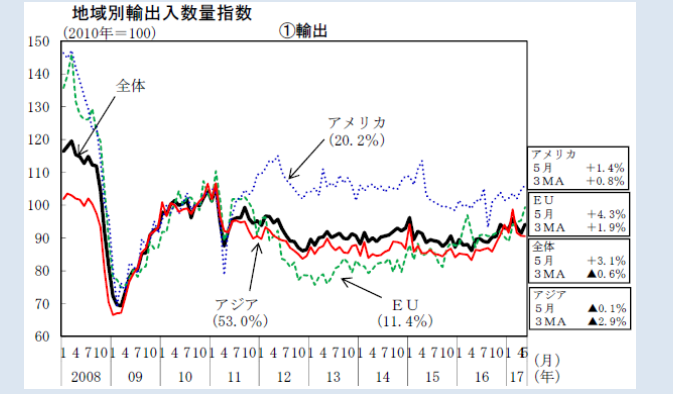
<p>基調判断</p>	<p>(6月) 景気は、緩やかな回復基調が続いている。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p>	
	<p>(5月) 景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p>	
<p>個人消費</p>	<p>(6月) 緩やかに持ち直している。</p>	<p>消費総合指数と実質総雇用者所得</p>
	<p>(5月) 総じてみれば持ち直しの動きが続いている。</p>	
<p>設備投資</p>	<p>(6月) 持ち直している。</p>	<p>製造業・非製造業の設備投資（実質）</p>
	<p>(5月) 持ち直しの動きがみられる。</p>	
<p>住宅建設</p>	<p>(6月) このところ横ばいとなっている。</p>	<p>住宅着工戸数（季節調整値）</p>
	<p>(5月) 弱含んでいる。</p>	
<p>雇用</p>	<p>(6月) 改善している。</p>	<p>雇用者数、就業者数の推移</p>
	<p>(5月) 改善している。</p>	

月例経済報告：内閣府

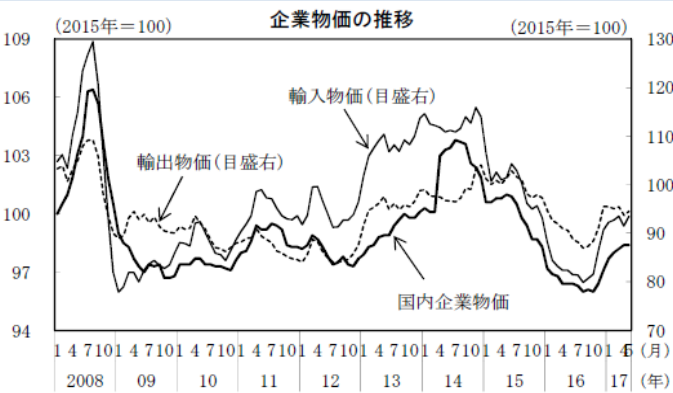
生産	(6月) 持ち直している。
	(5月) 持ち直している。



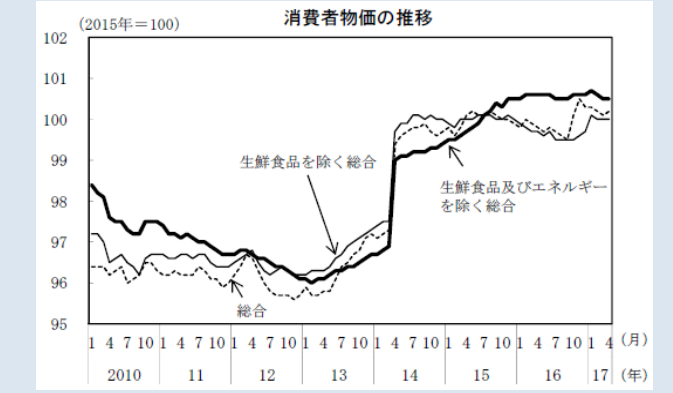
輸出	(6月) 持ち直している。
	(5月) 持ち直している。



国内企業物価	(6月) 緩やかに上昇している。
	(5月) 緩やかに上昇している。



消費者物価	(6月) 横ばいとなっている。
	(5月) 横ばいとなっている。



海外経済	(6月) 緩やかに回復している。
	(5月) 緩やかに回復している。

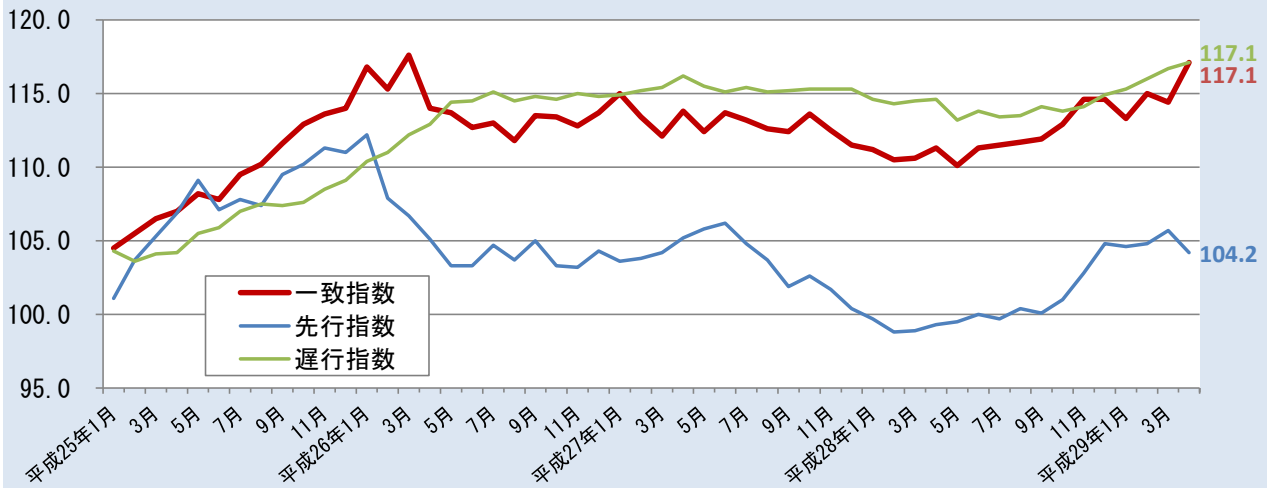
[月例経済報告：内閣府](#)

● 景気動向指数（平成29年4月・改訂値）

平成29年4月のCI一致指数（速報）は前月より2.7ポイント高い117.1ポイントとなった。
 CI先行指数は前月より1.5ポイント低い104.2ポイント、遅行指数は前月より0.4ポイント高い117.1ポイントとなった。
 景気の基調判断（CI一致指数）は、「改善を示している」を据え置いた。
 ※各指数は算出に用いるデータが一部遡及改訂されたため、全期間の値が遡及改訂された。
 このため、前月との比較は改訂後の数値で比較しており、前月発表された数値との比較ではないことに注意。

・ CIの推移

（平成22年=100）



[景気動向指数：内閣府](#)